




Quinta da Ermegeira

キンタ・ダ・エルメジェイラ

ポルトガルでのナチュラルワインの機運が年々高まる中、リカルド・メーロとホセ＝アウグスト・ファサロ二人のワイナリー。ブラジルのワイン業界で10年以上働いていたリカルドと、同じくブラジルで10年以上ナチュラルワイン生産をしていたホセが、それぞれの期待と可能性を探りに、トレシュ・ヴェドラシュでのワイン造りを2018年に始めた。ナチュラルなアプローチでワインを造り、化学合成された農薬などの製品や、亜硫酸を使わず当地トレシュ・ヴェドラシュという土地を表現することとし、初VTから、亜硫酸無添加の挑戦的な醸造をしている。

「ナチュラルワインへの情熱は、ワイン業界にいないなかで、素晴らしいワインを試飲し、そしてその造り手たちに会えたことの結果である。リシュボア地域でのワイン造りの決め手となったのは、大洋の強い影響があることで、熱く乾燥した日であっても、海洋から吹く風がやむことはなく、そのおかげで強い鉱物感を備えた、アルコール度数の低い、フレッシュなワインが出来上がる」とリカルドは話す。

	○Iseu - Arinto Branco イセウ アリント・ブランコ		備考	ポルトガルで広く栽培される、特徴的な酸味を持つ白品種アリントをシンプルに醸造した。
畑	品種：アリント100% 植樹：1990年代 位置：80m 土壌：粘土、砂質	醸造		
	○Cristovan - Arinto Laranja クリシュトヴァン アリント・ラランジャ		備考	ポルトガルで広く栽培される、特徴的な酸味を持つ白品種アリントを1週間以上マセレーションした。抽出は強くないが、香りと味わいに厚みを感じる。
畑	品種：アリント100% 植樹：1990年代 位置：80m 土壌：粘土、砂質	醸造		
	●Singela - Marselan Rose シンジェーラ マルセラン・ロゼ		備考	カベルネ・ソーヴィニヨンとグルナッシュの交配種であるマルセランは色素とタンニンの濃い品種。カーボニックマセレーションを行い、流れで果汁のみを熟成させ、軽やかに仕上げた。
畑	品種：マルセラン100% 植樹：1990年代 位置：80m 土壌：粘土、砂質	醸造		
	●Geira - Castelao Tradicional ジェイラ カシュテラン・トラディシオナル		備考	ポルトガルで最も栽培されている赤品種の一つである、カシュテラン。酸や果皮の成分のバランスがよく、醸造法に合わせて様々なスタイルのワインになる品種。 このキュヴェでは、長めにマセレーションを施し、しっかり目に仕上げた。
畑	品種：カシュテラン100% 植樹：1990年代 位置：80m 土壌：粘土、砂質	醸造		